

導入の目的・背景

- 小中学校にそれぞれ1クラス分のノートパソコンが配置
- 赤碕中と小学校5校のノートPCは、平成30年5月末でリース契約が満了  
東伯中学校は平成31年3月末でリース契約が満了
- 平成32年から実施される新学習指導要領で、情報教育、ICT活用教育が必要（プログラミング教育）  
小学校段階でプログラミング教育を導入し、中学校の情報教育の一層の充実を図る

【どんな機種を選べばよいか】

- 既存のノートパソコン？
- iPad？
- Windows系タブレットPC？

・PC導入における検討委員会  
どんな機種にすれば子どもは喜ぶか  
よりよい教育環境の整備につながるか

WINDOWS系のタブレットPCのメリット

- 液晶部分を取り外してどこでも移動が可能・・・教室、校庭、体育館、地域
- 学習の場が広がる便利な道具
- 教育用ソフトが豊富
- 学校現場の既存PCがWINDOWS系であり、互換性がある

1

タブレット導入による効果

タブレットPCの導入により、ICT活用の場面がPC教室から普通教室へ移行します。  
すべての教員が日常的にタブレットPCを活用して授業できます。

これまでのノートPC活用

一斉



1時限PC教室に固定される  
調べ学習・発表学習が中心

これからのタブレットPC活用

一斉

協働

個別



- ・場を選ばない
- ・こどもが主体的に使える
- ・ワンポイントでの利用
- ・学習履歴を蓄積・管理

【ICT支援員の配置】

- 活用方法の提案
- 操作支援

2

## 算出根拠

### 〔中学校〕

東伯中、赤碕中とも生徒用各37台、教職員用各1台  
 リース月額559,000円〔税抜き〕  
 ○5年間リース料〔消費税8%で60ヶ月〕  
 $559,000円 \times 1.08 \times 60ヶ月 = 36,223,200円$

### 〔小学校〕 赤碕小は10クラスあるため2クラス分 他の学校は1クラス分を整備

赤碕小 児童用74台、教職員用2台  
 浦安小、八橋小、児童用各37台、教職員用各1台  
 聖郷小 児童用25台、教職員用1台  
 船上小 児童用31台、教職員用1台  
 リース月額1,400,600円〔税抜き〕  
 ○5年間リース料〔消費税8%で60ヶ月〕  
 $1,400,600円 \times 1.08 \times 60ヶ月 = 90,758,880円$

## 近隣市町の状況

倉吉市…ノートパソコンを設置(5年リース)

次回更新時の導入機種は、これから検討予定

北栄町…デスクトップ型パソコンを設置(平成29年度から5年リース)

湯梨浜町…ノートパソコンを設置(購入)

5年以上経過しているため、平成31年度の中学校を統合する際に更新予定  
 (機種未定、購入)

三朝町…中学校は平成29年度に、小学校は今年の7月にタブレットに更新(購入)

3

## 導入スケジュール



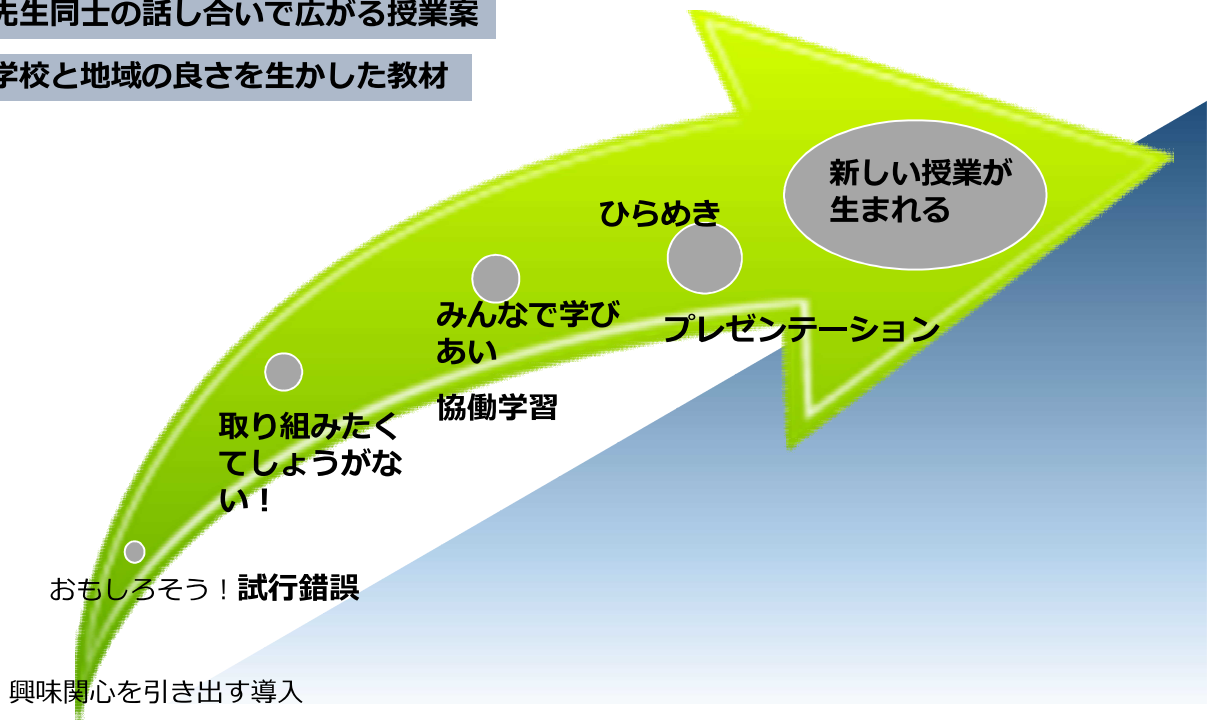
在庫確保のため早い段階で発注をかける必要がある

### 【教職員向け研修】

- 機能の理解(H31.3月末)
- 授業への活用方法(随時)
- 町教育研究会の活用

## タブレットPCを使った授業(イメージ図)

1. 自ら取り組む主体的な学び
2. 先生同士の話し合いで広がる授業案
3. 学校と地域の良さを生かした教材



## 文部科学省からの提示とねらい

### 教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）

新学習指導要領においては、

- ・情報活用能力が、言語能力、問題発見・解決能力等と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられ、「各学校において、ICT環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図る」ことが明記。
- ・小学校においては、プログラミング教育が必修化。

文部科学省では、新学習指導要領の実施を見据え「2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」を取りまとめるとともに、当該整備方針を踏まえ「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）」を策定。

#### 2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針で目標とされている水準

- 学習者用コンピュータ **3クラスに1クラス分程度整備**
- 指導者用コンピュータ **授業を担当する教員1人1台**
- 大型提示装置・実物投影機 **100%整備**  
各普通教室**1**台、特別教室用として**6**台  
(実物投影機は、整備実態を踏まえ、小学校及び特別支援学校に整備)
- **ICT支援員 4校に1人配置**

**ICT支援員の整備**  
→人的支援による継続的活用促進が必要

- どの先生がいつでも良質な授業研究のできる仕組み作り
- 現場の負担軽減
- 教材ソフトの活用促進

## 東伯中学校区教職員用パソコン賃借等業務

### 【導入の目的】

- 前回、平成26年4月に5年間リースで導入した教職員用パソコンがリース期間満了を迎える

【契約満了となった場合のリスク】



### 【リース契約の主な内容】

- パソコン、サーバー、プリンターの貸与
- サーバーも含めた全てのハード機器の保守

- 保守がなくなるため、サーバーに不具合が発生した場合は、すべてのパソコンに影響がおよぶ可能性があり

### 【効果】

- 教職員の業務効率の向上（役場職員と同様）

### 【近隣市町の状況】

- 倉吉市 購入していた機器を平成27年度から90台ずつリースにより更新
- 北栄町 リース契約（5年）
- 湯梨浜町 購入して使用不能になるまで使い続ける方針

### 【算出根拠】

- 東伯中29台、八橋小23台、浦安小22台、聖郷小17台
- 月額リース料 474,300円〔税抜き〕
- 5年間リース料〔消費税8%で60ヶ月〕  
 $474,300円 \times 1.08 \times 60ヶ月 = 30,734,640円$

## 路線バス等の運行について

商工観光課・教育総務課

### 1 現状

中部地区では唯一町営バスの運行を実施するなど、本町では下記のとおり地域の公共交通確保に努めている。

ドライバー不足が深刻な状況が続く中、町営バス・デマンドタクシー・スクールバスの運行委託先より、次年度以降受託困難との申し出を受けている。

### 2 現在の運行・利用状況

- ・町営バス運行により、ほぼ町内全域をカバー
- ・バス路線から離れた地域は、タクシー利用助成制度によりカバー
- ・小学生の通学にはスクールバスを運行

	町営バス	デマンド タクシー	タクシー 利用助成	スクールバス
運行路線	5 路線	1 路線	7 集落	—
保有車両数	7 台	—	—	4 台
人口カバー率	89.32%	5.01%	5.67%	—
利用者負担	100 円		運賃の半額	無料
年間利用者数 (H29/延べ)	74,626 人	1,949 人	686 人	聖郷 1 [24 人] 聖郷 2 [12 人] 船上 1 [28 人] 船上 2 [27 人]
町負担経費	46,137,536 円	3,027,280 円	352,170 円	15,721,927 円
運行委託先	日ノ丸自動車(株)	日本交通(株)	中部タクシー 共同組合	日本交通(株)

H30  
利用人数

### 3 今後について

委託事業者と引き続き協議するとともに、運行路線の見直しや他事業者への変更など併せて検討中。

### 4 スクールバスの近隣市町の状況

倉吉市 業者委託  
湯梨浜町 業者委託  
北栄町 直営  
三朝町 路線バス